

若山内閣大臣政務官が接合科学研究所を視察

植原 邦佳

技術部 技術専門職員

令和8年4月27日、若山慎司内閣府大臣政務官が接合科学研究所を来訪され、当研究所の最新の研究設備および研究活動について視察されました。

はじめに、藤井英俊所長より大阪大学月面都市開発研究センターの設立について報告がありました。同センターが掲げる月面1万人都市建設計画の構想や、その実現に向けた大阪大学の取り組みとして、大気生成技術をはじめとする基盤技術の概要について説明が行われました。さらに、本学における宇宙関連研究のこれまでの実績や強みについても紹介され、学際的な研究体制のもとで先進的な研究が推進されていることが示されました。

続いて、接合科学研究所が有する3種のAM技術(①青色マルチビームレーザーAM、②セラミックスAM、③固相AM)ならびに、線形摩擦接合をはじめとする接合関連の研究設備についてご見学いただき

ました。見学では、実際の装置を用いた実験デモンストレーションも行われ、各技術の特徴や応用可能性について具体的な説明が行われました。若山政務官は各説明に熱心に耳を傾けられ、研究者や学生に対して多くのご質問を寄せられるなど、高い関心を示されました。

見学後には、大阪大学に宇宙関連の研究センターが設立されたことの意義や、月面1万人都市構想をもたらす社会的・科学技術的インパクトについて、活発な意見交換が行われました。宇宙分野における我が国の競争力強化や、理系・人文学系を問わず大阪大学の多様な分野の英知を結集することの重要性など、多岐にわたる観点から議論が展開されました。

最後に、若山政務官より、本研究所のこれまでの研究成果に対する高い評価とともに、今後のさらなる発展に対する期待と心強い激励のお言葉を頂戴し、視察は盛況のうちに終了しました。

